野木町指定文化財の追加指定

令和３年10月28日に行われた野木町教育委員会において、野木町野木の満願寺(まんがんじ)にあります「銅造観音菩薩立像」(どうぞうかんのんぼさつりゅうぞう)、１軀(く)が野木町指定文化財有形文化財工芸品の部に指定されました。

この観音菩薩立像は、頭部に八角形の宝冠(ほうかん)をのせ、左肩から右腋(わき)に条帛(じょうはく)をかけ、一段折り返しの裳(も)に腰布をつけています。両手は右手を上に、左手を下にして梵篋印(ぼんきょういん)を結び、両足をやや広げて立っています。宝冠の正面には化仏(けぶつ)、その左右の２面には宝相華文様(ほうそうげもんよう)が浮彫り風に彫られています。

像の大きさは、像高32.5㎝、髪際高(はっさいこう)28.4㎝、臂張8.3㎝、裾張5.8㎝。

この像の品質・構造について、像は銅造で、下の枘(ほぞ)は中央前面両足に１本。頭部には鉄芯を抜いた小穴があり、両肩先を別鋳にするほか、本体部は前後の合わせ型で一鋳仕上げています。おそらく、同一の鋳型からいくつも鋳出したものかと思われます。

保存状態ですが、阿弥陀如来立像(あみだにょらいりゅうぞう)、勢至菩薩立像(せいしぼさつりゅうぞう)はなくなっています。光背(こうはい)も欠失。台座もなくなり、別なものを台座として充てています。宝冠の５面はヤスリ状のもので削られた痕跡があり無文となります。両耳もヤスリ状のもので削られています。全体的に衣文線の彫りは深いですが、宝冠から顔面にかけての彫りが浅く、かなり摩滅しています。全体的に摩滅が著しくなっています。

伝来・来歴について、満願寺は、元和２年(1616)、現在の地、本野木の金剛院跡(こんごういんあと)に建てられ、野木神社の別当寺(べっとうじ)として成立しました(平成元年　野木町史編さん委員会『野木町史』歴史編576頁)。満願寺関係の資料や聞き取り調査をしても、本像の伝来や来歴は未詳です。

製作年代は鎌倉時代後期から南北朝期、14世紀から15世紀頃の製作と考えられます。

満願寺　銅造観音菩薩立像

この銅造観音菩薩立像について、次のような特徴的なことがあげられます。

1．本像は善光寺式阿弥陀三尊像(ぜんこうじしきあみださんぞんぞう)の脇侍(きょうじ･わきじ)であります。阿弥陀三尊像は中尊(ちゅうそん)の阿弥陀如来立像、左の脇侍に観音菩薩立像、右の脇侍に勢至菩薩立像の３軀により構成され、本像はその中の観音菩薩立像であります。

2．善光寺信仰が注目され始めたのは12世紀末期以降、源頼朝(みなもとのよりとも)の信濃善光寺(しなのぜんこうじ)復興造営をきっかけに全国的に広まりました。それ以後、善光寺の秘仏本尊阿弥陀三尊像(一光三尊阿弥陀如来)の模造が製作されることとなります。

栃木県内では 14 例の善光寺式阿弥陀三尊像が確認されています。３軀すべて揃っているのが10例で、他の４例は中尊や脇侍を欠いているものであります。

①東京国立博物館蔵　阿弥陀三尊像(重文)銅造、鍍金　建長６年(1254)那須町から東京国立博物館へ
②那須町、専称寺　阿弥陀如来立像(重文)銅造、鍍金　文永４年(1267)勢至菩薩立像(県指定)銅造、鍍金
③那須烏山市、西方寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造、鍍金　鎌倉時代
④益子町、光明寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造、鍍金　鎌倉時代
⑤益子町、圓通寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造　南北朝時代
⑥真岡市、無量寿寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造、鍍金　南北朝時代
⑦真岡市、仏生寺　勢至菩薩立像(県指定)銅造　鎌倉～南北朝時代
⑧足利市、光得寺　阿弥陀三尊像(市指定)銅造、鍍金　中尊＝室町時代　観音＝南北朝時代　勢至＝江戸時代
⑨佐野市、龍西院　阿弥陀三尊像(市指定)銅造　中尊＝文禄３年(1594)　両脇侍＝鎌倉時代
⑩小山市、興法寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造、鍍金　鎌倉時代
⑪小山市、西光寺　阿弥陀三尊像(市指定)銅造、鍍金、彩色　室町時代
⑫小山市、新善光寺　勢至菩薩立像(市指定)銅造　鎌倉時代
⑬栃木市、悪五郎神社　阿弥陀如来立像(市指定)銅造、鍍金　脇侍立像(市指定)銅造、鍍金　鎌倉時代
⑭鹿沼市、広済寺　阿弥陀三尊像(県指定)銅造、鍍金　鎌倉時代

以上であり、満願寺の観音菩薩立像を加えると、栃木県内で脇侍が１軀プラスされます。これで明らかなように、県内で確認されているものはすべて国重要文化財、県や市町指定の文化財であるのに対し、本像のみが未指定となっています。その他、古河市内、板倉町付近でこの善光寺式阿弥陀三尊像は確認されていません。

3．同一の鋳型からいくつも鋳出したものかと思われますが、前掲の類例を比較しても、本像と同一のものは確認できません。

4．いずれにしても、本像はその希少性や中世所産であることなど貴重であります。従いまして、満願寺の銅造観音菩薩立像は野木町指定文化財(有形文化財、工芸品の部)に指定することが決まりました。

この銅像観音菩薩立像は、野木町の満願寺で長い間大切に保存されてきました。野木町の指定文化財となっても常時公開されている訳ではありません。拝観したい方は、満願寺へ連絡し、寺側の了承をとってからご覧になってください。

（裏面）

（左面）

（上面）

問生涯学習課　☎(57)4176